

写真技術の未熟さは、痛感しているが、最初は、誰でも初心者。  
ホームページに掲載するのは、いかがかと思ったが、一枚の写真画像があることで、  
当時の状況が思い出される。いろいろ体感しているので、  
また、1～2ヶ月以上の長期ひとり旅。走馬灯のように、思い浮かぶ。  
誰も助けてくれないと覚悟。真剣勝負の旅立ち。



## 山はみどり 野に花 人にはこころ

しかし、こうして画像記録が残った。ふと、思ったのが、親父殿人生記録の存在。男ばかりの歳の離れた三男坊、記録も捨てられるところだった。

一人っ子の親父殿は仕事で多忙。背中だけ見ていた。生母の記録がない。今となっては、50歳からの夢挑戦。祖母や親父殿の苦労や趣味や人生記録のおかげ。そんな思いが、脳裏を走った。この旅を、楽しみ、完結させたい。

